

製品名: YY1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab01322**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 45 kDa; Observed MW: 68 kDa

抗原情報

遺伝子名	YY1
別名	YY1; Delta transcription factor; INO80 complex subunit S; NF-E1; Yin and yang 1; YY-1
遺伝子 ID	7528
SwissProt ID	P25490
免疫原	ヒト YY1 の合成ペプチド

背景

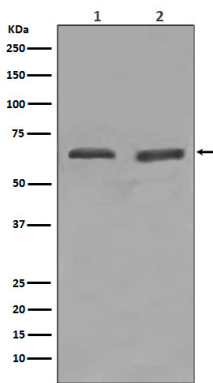
その活性は転写因子および細胞質タンパク質によって制御されており、これらは YY1 を介した活性化または抑制を無効化または完全

に阻害することが示されている。例えば、アデノウイルス E1A タンパク質が存在しない場合には抑制因子として作用するが、存在する場合には活性化因子として作用する。骨形成タンパク質 (BMP) を介した心臓特異的遺伝子発現において、SMAD1 および SMAD4 と相乗的に作用する。

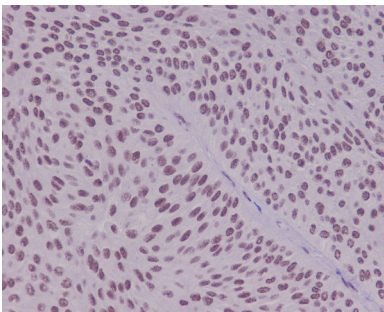
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

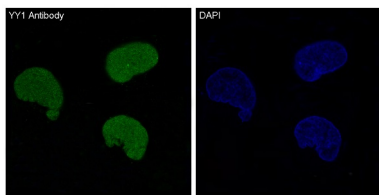
画像データ



YY1 抗体を用いた (1) HeLa ライセート、(2) Daudi ライセート中の YY1 のウエスタンブロット分析。



YY1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



YY1 抗体を使用した HeLa 中の YY1 の免疫蛍光分析。